

名家連ニュース

令和4年8月4日(木)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX(052)846-5576 NO.880号

◆◆ 令和4年度7月家族SST講座 報告 ◆◆

令和4年度7月23日(土)家族SST講座が、名古屋市北区総合社会福祉会館7階の中間会議室で開催されました。吉田先生、同朋大学大学院生3名、家族15名で合計19名の学習会でした。

まず吉田先生から、家族が集まり学び合う、話し合う事での有意義な事柄には

- ① 病気や薬の新しい知識・情報、病気の当事者に関する知識・情報を得ることが出来る
- ② 病気の当事者や医療関係者との会話・対応での良い関係作りのスキルを上げる
- ③ 同じような仲間と出会う。会話する事で気持ちの整理が出来る

などがありますが、この時間は②の練習の時間ですと説明がありました。

そして参加者全員が「夏を感じる時は、どんな時？」で自己紹介をしました。蚊取り線香、澄んだ空、入道雲、蝉の声が多くでました。一回りして、「最近の私・わが家」について、パスも大丈夫ですのでお話し下さいと続きました。一部内容です。

(ア)家族の方から息子がお金の管理をできない。
自立できるか心配している。

参加者から、お金の管理ができない当事者のために、名古屋市成年後見人安心センターに成年後見人制度の相談をすると良いとの発言がありました。

(イ)当事者が一人暮らししたい。私も情報が欲しい。
社会資源を上手く利用することが大事。基幹支援センターに相談することで認定を受け、その後に訪問看護、の具体的な発言もありました。

(ウ)薬の服用を嫌がる。『お母さんが喜ぶから飲んでるだけだ』と発言する。

どうしてそんな事を私に言うのだろうか？どう言えば薬を飲んでくれるのかしら…

吉田先生から、「その様な経験がある方はみえますか？」との問いに、複数の参加者から「薬を飲むと、頭がボーとして嫌な感覚になったり、副作用が出たりで飲むのを嫌がる方は、珍しくないです。」「薬の合う、合わないは先生によく相談するのも大切」など。吉田先生から、その「嫌な気持ち」を一緒に共感しながら、「お母さん」という主語を付けて「お母さんは飲んでくれると安心、うれしい」と言いたいというアドバイスがありました。(家族SST担当 富永)



家族の声



6月、今年度から高校の教科書に、40年ぶりに精神疾患の表記がされるという事で、展示されている鶴舞図書館へ行きました。2階へ行き、まず手荷物全部ロッカーに入れて入室という厳重さに驚きました。内容は、妥当なページ数と文言で書かれていたという印象です(大修館書店)ただ、体育教師がどう教えるのかという不安があるとの声も聞かれるので、実践報告が待たれます。(熊谷)